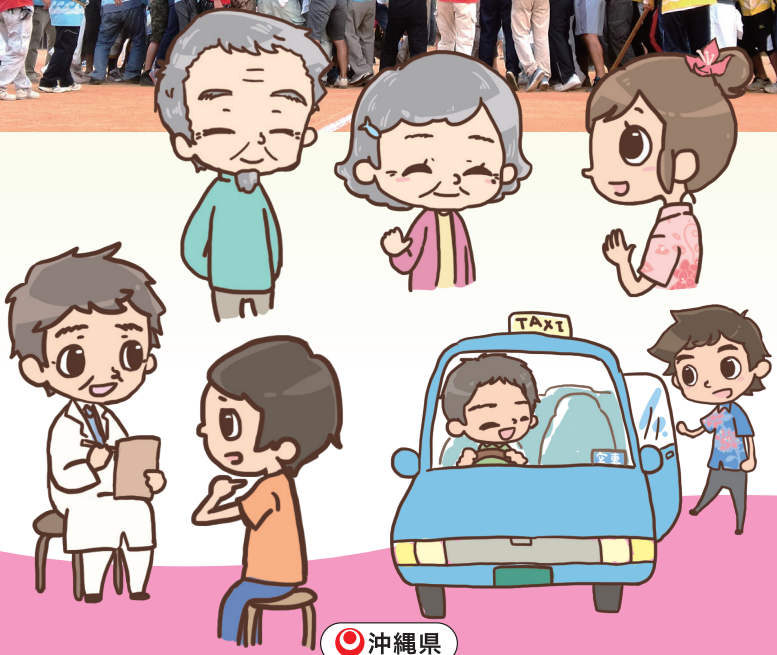
語って　使おう　しまくとぅば

かたてぃ　ちからな しまくてぃば

うやまくてぃば（大山ことば）



沖縄県

は　じ　め　に

はいさい、ぐすーよー　ちゅーうがなびら。しまくとぅば　かなさし、いちまりん　ぬくする　たみに　きがきてぃ　きみそーち　にへーれーびる。ぅんなさーい　きばてぃ　いかな（ハイサイ、皆さんごきげんいかがですか。しまくとぅばを大切にし、いつまでも残すためにお励み下さり有難うございます。みんなで頑張っていきましょう）。

沖縄ほど数多くの種類のことばを持っている地域はありません。村が違えばことばも違います。そのことばの違いは村の個性を形作る重要な要素で、しまくとぅばの豊富さは沖縄の文化の豊かさにつながっています。村々の個性豊かな文化を大切にし、次代に受け継いでいくためにも、しまくとぅばを大切にしていかなくてはなりません。

沖縄県しまくとぅば普及センターではそのために、沖縄各地のしまくとぅばの学習のために、簡便なハンドブックを作りました。日常生活のいろいろな場面で使われるしまくとぅばについて、この本をとおして接していただきたいと思います。もちろんこの小さな本は、しまくとぅばの豊かな世界に入るための入り口にすぎません。皆さんがそれぞれの村々のしまくとぅばに興味を持ち、それを身につけていかれるその第一歩として、本書をご活用下さいますことをご期待申し上げます。

2021 年 3 月 17 日

沖縄県しまくとぅば普及センター

センター長　　波照間永吉（はてるまえいきち）

語って　使おう　しまくとぅば

かたてぃ　ちからな しまくてぃば

うやまくてぃば（大山ことば）

本書を利用するにあたって

本書『かたてぃ　ちからな　しまくてぃば』は、大山ことばの話者、宮城邦治（宜野湾市大山出身）さんを中心に、伊佐真徳（大山）さん、石川博司（大山）さんの協力を得て作成しました。

「しまくとぅば」の表記は、カタカナやローマ字、音声記号で表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。

しかし、「しまくとぅば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記している箇所もあります。

また、「しまくとぅば」には、一つのひらがなやカタカナでは書き表すことのできない音があります。それを表すために、特別な表記を使っている語もあります。

この本を読む前に、右頁にある「特別な表記について」の説明を読んで、ご理解いただきますようお願い致します。

特別な表記について

本書を活用する際、「つわ」や「いえ」など、日ごろ目にすることのない表記があることに気がつくと思います。これらの表記について、ここで説明します。

①咽喉に力を入れて発音する音（声門閉鎖音）

発音の出だしに、咽喉に力を入れて発する音を声門閉鎖音といいます。この音は日本語の共通語には普通みられない音なので、かな文字がありません。ですから、かな文字を２字組み合わせ、左上に小さな「つ」を添えて書き表しました。例えば、宮城島ことばの「わー」は「私」の意味になりますが、のどに力を入れて発する「つわー」は、「豚」の意味になります。この音はなかなか発音しづらいのですが、「う」と「わ」を区切って発音し、それを次第にちぢめていくと似た音を発音できるようになるでしょう。

②やわらかい発音ではじまる音がある（ゆるやかな声立て）

①の「のどに力を入れて発音する音」とは真逆のような音で、出だしに全く力を入れずに発音するのが、この音の特徴です。本書では、この音を表すために左上に小さな「い」や「う」を添えて「いえ」や「うう」で表記することにしました。

例えば「夫」は「うとぅ」、「縁（えん）は「いいん」となります。通常の出だしの発音の「うとぅ」は「音」の意味になり、「いん」は「犬」の意味になるため、出だしをやわらかく発音しないと、通じないことになります。

この音の特徴は、通常の１音の長さより、ほんの少しだけ長め（1.2 ～ 1.3 倍ぐらい）の音であることです。また、「ᵢᵢい」のときには唇を平たくしてあまり開けずに、「ᵤᵤう」のときには唇を丸めて少し突き出すようにすると上手に発音できるようになります。

「良い天気ですね」の「ᵢᵢいー　ᵤᵤわーちち　やんやー」の語頭の「ᵢᵢいー」（良い）や、「ᵤᵤうたいん」（疲れる）の「ᵤᵤう」などの出だしにも、この音があるのです。

③伸ばす音は「ー」で！

母音が伸びるとき、音を区切って発音することはありません。例えば「獅子」を意味する「しーさー」は、通常の発音では「し」「い」「さ」「あ」と区切って発音することはありません。「しー」と「さー」は区切ることができますが、「しー」は区切ることができないため、本書では「しー」と表記することにします。

④半角スペースについて

「だ」「です」にあたる「やん」「やいび（ー）ん」、「する」にあたる「すん」（ただし、複合動詞のみ）が、前の要素に付く場合には、見やすさを考慮して、半角分のスペースを空けました。

⑤うやまくとぅば（大山ことば）の特徴について

中南部方言の多くでは、共通語の「き」にあたる音が「ち」に変化します。例えば、「きも（肝）」が「ちむ」、「いしがき（石垣）」が「いしがち」になります。しかし、大山ことばでは共通語の「き」と同じ「き」のままで、「きむ」、「いしがき」です。他にも、「美しい」を意味することばに「ちゅらさん」がありますが、「ちゅらさん」は「きよらさ」に由来することばで、「きよ」が「ちゅ」に変化した結果です。しかし、大山ことばでは「きらさん」と言い、語源の「きよらさ」に近い「き」の発音になっています。

また、大山ことばでは「来る」も共通語の発音と同じ、「く」のままで「くーん」となります。なお、大山ことばで「来ない」は「くーらん」と言います。一方、沖縄中南部の多くでは「くる（来る）」の「く」は変化して「ちゅ」となり、「ちゅーん」と言い、「来ない」は「くーん」となります。

大山では、敬語や丁寧語など畏まった言い方はあまり使わないとのことです。それでも、目上の方に対しては、語尾に「なー」や「な」を付けることで、言い方をやわらげる表現方法があります。例えば、どこが痛いのかを聞く際に、目下や同年の人に対しては「やむが？（痛いの？）」となりますが、目上の方に対しては「やむがなー？」と語尾に「なー」を付けて表現することがあります。

目　次

1，挨拶ことば……8

◆朝起きたとき（8）

◆ごはんを食べるとき（9）

◆出かけるとき（10）

◆外で友人に出会ったとき（10）

◆（午後の時間帯で）外で知人に出会ったとき（11）

◆仕事場から帰るときの挨拶（12）

◆夕方・夜の挨拶（13）

◆初対面のときの挨拶（14）

◆二回目以降のときの挨拶（14）

◆その他の挨拶ことば（15）

◆大晦日・正月の挨拶（17）

2，自己紹介……18

◆自己紹介（18）

◆家族を紹介します（19）

3，身体用語……20

◆身体を表すことば（20）

◆身体に関連することば（22）

4，お祝いや行事で使えるしまくとぅば……24

◆お祝いのことば（24）

◆「おめでとうございます」を表現することば（25）

◆行事の際に使うことば（26）

5，拝みのときに使うしまくとぅば……28

◆祈願することば（28）

◆まじないことば（29）

6，病院での会話……30

◆診察のときの受け答え１（30）

◆診察のときの受け答え２（32）

7，その他……34

◆食事のときに使うことば（34）

◆食味をあらわすことば（35）

◆問いかけのことば（35）

8，ことわざ……38

9，タクシー運転手との会話……40

◆大山でタクシーに乗る（40）

10，地域の特徴……42

◆沖縄県の様子（42）

●大山の特徴（44）

●観光案内（45）

綱引き

大山の田芋

挨拶ことば（えーさち くてぃば）

◆朝起きたとき

・もうお目覚めですか？

なー　うきやびたんなーさい？

・もう起きましたか？

なー　うきたんなーさい？

・起きたの？

うきたんなー？

・早く起きなさい。もう朝だよ。

へーく　うきれー。なー　ひてぃみてぃどー。

・朝ごはん。

ひてぃみてぃむん。

・朝ごはんは召し上がりましたか？（目上の人に対して）

ひてぃみてぃむん　からんなー？

・朝ごはんは食べたか？（子どもや目下に対して）

ひてぃみてぃむん　かりー？

・朝ごはんお召し上がりください（食べなさい）。

ひてぃみてぃむん　かみんそーれー（かめー）。

※沖縄には共通語にあるような「おはようございます」や「おはよう」にあたる挨拶言葉はありません。「こんにちは」や「こんばんは」も同じです。

◆ごはんを食べるとき

・お召し上がりください。

かみんそーれー。

・さあ、いっしょに食べよう（食べようね）。

とー、まじゅーん　かま（かまやー）。

・いっしょに食べない？

まじゅーん　かまに？

・いただきます。

くわっちーさい。

・ごちそうだね。

くわっちー やさやー（やんやー）。

・ごちそうさまでした（ごちそうさま）。

くわっちー さびたん（さんやー）。

・大変おいしかったです。

いっぺー　まーさいびたん。

・とってもおいしかったね。

いっぺー　まーさたんやー。

※まーさん＝おいしい　　まーさむん＝おいしいもの

・このお菓子をお召し上がりください（食べなさい）。

くぬ　くわーし　みそーれー。（目上の人に対して）

くぬ　くわーし　かめー。（同年や目下に対して）

◆出かけるとき

・行ってきます（行ってくるよ／行くよ）。

ᶠんじ　くーᶦいー。（目上の人に対して）

ᶠんじ　くーんどー。（目下の人に対して）

いくんどー。（子どもや友達に対して）

・行くの？

いくんなー？

・気をつけて行ってらっしゃい。（目上の人に対して）

きー　ちきてぃ　もーりよーやー。

・気をつけて行きなさい。（目下の人に対して）

きー　ちきてぃ　いきよー。

・行ってきなさい（行きなさい）。

ᶠんじ　くーわ。

いけー。

◆外で友人に出会ったとき

・きょうは、良い天気だね。

くーや、ᶦいー　ᶠわーちき やんやー。

くーや、ᶦいー　ᶠわーちき やっさーやー。

・きょうは、早く起きているね（早いね）。

くーや、へーく　うきてーさやー。

くーや、へーさんやー。

・どちらへお出かけですか？（目上の人に対して）

まーんかい　めーがなー？

・どこへ行くの？（同年や目下の人に対して）

まーかい（まーんかい）　いくが？

・用事にいらっしゃったの？（行ったの？）

ゆーじかいる　もーちゃんなー？

ゆーじかいる　ᶠんじゃんなー？

・畑に行ったのですか？（行ったの？）

はるかいる　もーちゃんなー？

はるかいる　ᶠんじゃんなー？

・がんばっているね。（「精が出るね」の意で、畑仕事などをしている人への声かけ）

はまてーさやー。

◆（午後の時間帯で）外で知人に出会ったとき

・こんにちは。

はいさい。（目上の人に対して）

あい！　はい！（友だちや目下の人に対して）

※この言葉は、昼だけでなく、いつでも挨拶の言葉として使います。目上の人に対しては「はいさい」を使います。また、地域によって、男性は「はいさい」、女性は「はいたい」となる場合もあります。

・元気か？（挨拶ことばとしての声かけ）

がんじゅー やみ？

◆仕事場から帰るときの挨拶

・気をつけてお帰りくださいね。

きー　ちきてぃ　もーりよーやー。

・気をつけて帰ってね。

きー　ちきてぃ　けーりよーやー。

・また明日ですね。はい、また明日ね。

また　あちゃーやーさい。（目上の人に対して）

ぃい（あんしぇー）、また　あちゃーやー。（目下に）

・さあ、一緒に帰りましょう。（目上の人に対して）

りっか、まじゅーん　けーらなさい。

・さあ、一緒に帰ろう。（目下の人に対して）

りっか、まじゅーん　けーらな。

・さあ、疲れを癒しに行こう。（行くか？）

あんしぇー、ぅうたいのーしー　しーが　いか。

あんしぇー、ぅうたいのーしー　しーが　いくみ？

・そうだね。

やんやー（やっさやー）。

・どこへ行きますか？（目上の人に対して）

まーんかい　もーいがなー？

・どこへ行こうか？（同僚や目下の人に対して）

まーんかい　いくが？

◆夕方・夜の挨拶

・ただいま（今、帰ったよ）。

なま、けーたんろー。

・今お帰りですか？　疲れてないですか？（目上に対して）

なまる　もーちゃんなー？ぅうたてー ねーらんなー？

・今帰ったの？　疲れてない？（同年や目下に対して）

なまる　けーたんなー？ぅうたてー うらに？

・もう遅いので、寝ようね。

なー　にっか　なとーくとぅ、にんらな（ゆくらやー）。

・おやすみなさい。（寝る人の言葉）

なー　にんらぃいー。（もう寝るね。）

なー　にんじゅんろー。（もう寝るよ。）

なー　にんらな。（もう寝るか。）

・はい、おやすみなさい。（寝る人へ返す言葉）

おー、にんじそーれー。（「おやすみください」。丁寧な言い方）

いー、にんりよー。（「はい、おやすみ」。子どもや目下の人に対して）

いー、にんれー。（「さぁ、寝なさい」。命令）

◆初対面のときの挨拶

・初めまして（初めてだね）。

はじみていやーさい。（目上の人に対して）

はじみていやー。（同年や目下に対して）

・よろしくお願いします（よろしくね）。

ゆたしく　うにげー さびら。（目上の人に対して）

ゆたしくやー。（同年や目下の人に対して）

・初めてだね。見知っといてね。（「よろしくお願いします」と同じ意味で使われる）

はじみていやー。みーしっちょーきよーやー。

◆二回目以降のときの挨拶

・お元気でしたか？

がんじゅー やんせーみ？

・元気だった？

がんじゅー やていー？（そーていー？）

・久しぶりだね（久しぶりだなあ）。

みーるーさんやー。

みーるーさたんやー。

・久しぶりだね。ずっと元気でしたか？（元気だった？）

みーるーさんやー。ちゃー　がんじゅー やていー

なー？（目上の人に対して）

みーるーさんやー。ちゃー　がんじゅー そーていー？

（やていー？）（同年や目下に対して）

・最近見なかったけど、忙しかったの？

ちかぐる　みーらんたしが、いちなさる　あていー？

・きょうも暑いですね。

くーん　あちさんやー。

・そうですね。毎日暑いですね（暑いね）。

やんやーなー。めーなち　あちさんやーなー。（目上の人に対して）

やんやー。めーなち　あちさんやー。（同年や目下に）

・きょうは寒いですね（寒いね）。

くーや　ひーさんやーなー。（目上の人に対して）

くーや　ひーさんやー。（同年や目下に対して）

◆その他の挨拶ことば（うぬふかぬ　えーさち くていば）

・ありがとうございます（ありがとうございました）。

にへー れーびる。

にへー やたんどーなー。

・ごめんなさい（悪うございました）。

わっさいびーん。

わっさいびーたん。

・急に踏んでしまった。ごめんね（＝間違いだったよ）。

あったんぐぁー　くらみたん。ばっぺー やたっさー。

・わざとじゃないよ。ごめんね（＝間違いだったよ）。

わざとー　あらんたんろー。ばっぺーる やたんろー。

・失礼します（失礼しました）。

ぐぶりー さびら（ぐぶりー さびたん）。

・ごめんください（来たよ）。

ちゃーびらさい。（丁寧な言い方）

ちゃーびら。（目下や同年の人に）

・いらっしゃいませ。

めんそーれー。

・いらっしゃいましたか？　（どうぞ）お上がりください。

めんそーちゃんなー？　あがんそーれー。

・先生がいらっしゃるの？

しんしーが　めーんせーんなー？

・先生がいらっしゃる。

しんしーが　めーんせーん。

・ここへいらっしゃい（おいで）。

くまんかい　めんそーれー（くーわ）。

・いらっしゃい。お茶を召し上がってください。

もーれー。ちゃーぐぁー　ぬみんそーれー。

◆大晦日・正月の挨拶

・きょうは大晦日だよ。

くーや　とぅしぬ　ゆるー やんどー。

・明日は正月だよ。

あっちゃー　そーぐぁち やんどー。

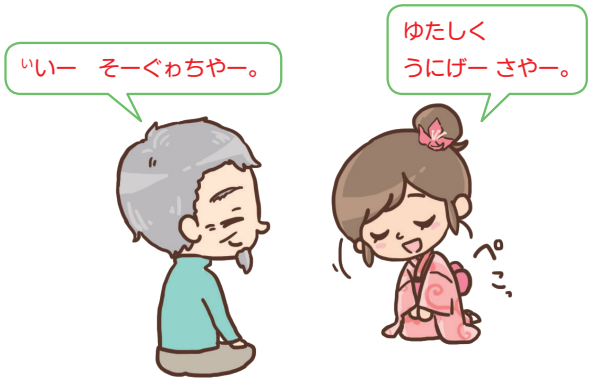
・良いお正月ですね（良い正月だね）。

ぃいー　そーぐぁち やんやーなー。（丁寧な言い方）

ぃいー　そーぐぁちやー（やっさー）。

・今年もよろしくお願いします。

くとぅしん　ゆたしく　うにげー さやー。



2，自己紹介

◆自己紹介

・こんにちは、私の名前は宮城だよ（＝と言っている）。

はい、わん　なーや　宮城んり　いちょーん。

・こんにちは、私は石川だよ（＝と言っている）。（よろしく）お願いします。

はい、わんねー　石川んり　いちょーん。うにげー さびら。

・私（の名前）は太郎ですが、役所に勤めています。

わんねー　太郎 やしが、役所んかい　あっちょんなー。

・私は大山の生まれだよ（＝なっている）。

わんや　うやまぬ　んまり なとーん。

・私は野球を見るのがとても好きだよ（野球観戦が趣味だよ）。

わんねー　やきゅー　んじゅし　いっぺー　しき やんろー。

・相撲を見るのがとても好きだよ（相撲観戦が趣味だよ）。

しま　んじゅし　いっぺー　しき やんろー。

◆家族を紹介します

・私の家族は、祖父の一郎、祖母の富子、父の次郎、母の直美、妹の一枝、そして私も含めてみんなで６人だよ（＝なっている）。

わったー　やーにんじゅや、ᵢᵢいきが ふぁーふじーぬ いちろー、ᵢᵢいなぐ ふぁーふじーぬ　とみこー、ᵢᵢいきが うやぬ　じろー、ᵢᵢいなぐ うやぬ　なおみー、ᵢᵢいなぐ きょーれーぬ　かずえー、あんし　わにん いってぃ　んなさーい　るくにん　なとーん。

祖父（ᵢᵢいきが ふぁーふじー・ᵢᵢうすめー・おじー）

祖母（ᵢᵢいなぐ ふぁーふじー・はーめー・おばー）

父（ᵢᵢいきが うや・すー・おとー）

母（ᵢᵢいなぐ うや・あんまー・おかー）

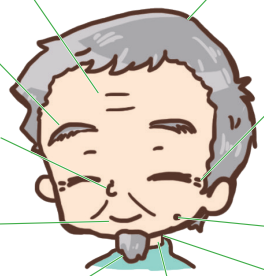
私（わん）

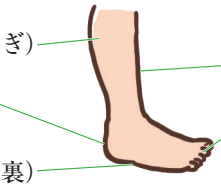
妹（ᵢᵢいなぐ うっとぅ）

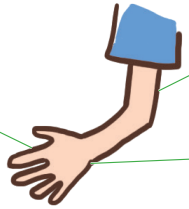
姉（しーじゃ ᵢᵢいなぐ・あっぱー）　姉妹（ᵢᵢいなぐ きょーれー）
兄（しーじゃ ᵢᵢいきが・あひー）　兄弟（ᵢᵢいきが きょーれー）
弟（ᵢᵢいきが うっとぅ）　年上（しーじゃ ・とぅし しーじゃ）
年下（ᵢᵢうっとぅ ・とぅし うっとぅ）　男（ᵢᵢいきが）　女（ᵢᵢいなぐ）
赤ちゃん（あかんぐわ）　孫（ᵢᵢんまが）　従兄弟（いちく）
甥・姪（みーっくわ）　おじ（ᵢᵢうじゃさー）　おば（ᵢᵢうばまー）

◆身体を表すことば（からた　あらわする　くていば）

～頭から足先までのしまくとぅば～







◆身体に関連することば

いーき（息）
いーき　ふくん（息を切らせる）

あし（汗）
あしかかー（汗かき）

なら（涙）　なら よーさん（涙もろい）
なきぶさー（泣き虫）
なら ぐるぐるー（今にも涙が落ちようとする様子・涙ぐむ）

とぅんぺー（唾）
かしぐい・かさげー（痰）
ふぁな　ふくん・ふぁな　ふちゅん（いびきをかく）

さっこーび（しゃっくり）
さっくい（咳）

くぇーやー・くぇーとーん
（太っている人・太っている）

よーがらー・よーがりー
（やせている人・やせている）

わじーん・わじとーん（怒る・怒っている）
さくー（怒りんぼ）

さーふーふー（ほろ酔い）　ぃいーやー（酔っ払い）
ぃいーゆん（酔っ払う）　ぃいーている　うんなー？・ぃいーている　うりー？（酔っ払っているのか？）
ぐてー・ぐてーまぎー（力の強い人）
えんらー・えんらさん（優しい・優しい人）
うとぅるさん（怖い）　うとぅるー（恐がり）
きらさん（美しい）　きらかーぎー（美人）

乾杯、結婚式、祝賀会等の祝福、お悔やみ

◆お祝いのことば

・きょうは案内をもらって、ありがとうね。

くーや　ぃえーじ　うきてぃ、にへー やたんど。

・ひと言、挨拶をします。

ちゅくとぅば、ぃえーさち さびら。

・それでは、こちらにいる皆さんの健康を願って、乾杯します。

あんしぇー、くまんかい　うる　ちゅぬたー　がんじゅー　にがてぃ、かんぱい さびら。

・こんなにお祝いして（もらって）、うれしかったよ。

うさきなーな　おいわいし、かふーしどー。

・あの人に私はとても恩があるよ。

あぬ　ちゅんかい　わねー　いっぺー　うんじぬ　あんろー。

結納（さきむい）／結婚適齢期（とぅしぐる）

結婚（にーびき）／盛大な結婚式（まぎ にーびき）

仲人（なかだち）／指輪（いーびなぎー）

お祝い（すーぎ）

◆「おめでとうございます」を表現することば

・お祝いですね（おめでとう）。

ぐすーぎ　りかちぇーさやー。

・本人に対して（「お祝いだね」の意）

ぐすーぎ やさやー。

ぐすーぎ やんやー。

・あなたがチャンピオンになったので、親戚は自慢（誇り）だよ。

ちゃーが（なーが）　チャンピオン　なたくとぅ、ぃえーかぬちゃーや　じまん やんどー。

※なー＝あなた（年上に対して）／ちゃー（年下に対して）

・お前が試験に合格したのは、とっても嬉しいよ。

ちゃーが　試験かい　とぅーたしぇー、いっぺー　うっさんどー。

・高校に合格（入学）して、大変嬉しいね（頑張ったね）。

こーこーんかい　いっち、いっぺー　うっさんやー（がんばたんやー・はまたんやー）。

・赤ちゃんが産まれたんだってね。よかったね。

あかんぐぁぬ　うまりたんでぃやー。りきたんやー。

・赤ちゃんが産まれたんだってね。よくやったね。

あかんぐぁ　なちゃんでぃやー。りかちぇーさやー。

◆行事の際に使うことば

・清明祭（しーみー）

ご先祖様、きょうは子や孫が揃って清明に来ているよ（＝来ていますよ）。

うやふぁーふじーぬ　めーさい、くーや　くわっ　ᶠん

まぐわ　すりてぃ　しーみーんかい　ちょーんどー。

ご先祖様に、手を合わせる（＝合わせましょう）。

うやふぁーふじんかい、てぃー　うさぎーん。

・手を合わせてから、ごちそうをいただきましょう。

てぃー　うさぎてぃから、うさんれー さやー。

・子や孫を見守ってください。

くわっ　ᶠんまぐわ　みーまんてぃ　きみそーり。

・七夕（たなばた）

（墓の）掃除をしに来ているよ（＝来ています）。

そーじ　しーが　ちょーんどー。

今から（墓の）掃除をするよ（＝します）。

なまから　そーじ　すんどー。

※旧暦７月７日の七夕の日には、墓掃除をします。

・旧盆　（しちぐわち）

お盆なので、みんな揃って家にお越しください。

しちぐわち やくとぅ、んーな　すりてぃ　もーりよー。

（旧盆の）お迎えをしようね（するよ）。

うんけー さやー（すんどー）。

（旧盆の）お供えものをいただこうね。

うさんれー さやー。

お見送りするよ。

うーくい すんどー。

来年もいらしてください。

やーにん　もーりよー。

・お悔やみ・法事に関することば

だび（葬式）　むふく（喪服）　ぼーじ（坊さん）

なんか（葬儀の後の七日ごとの法事の事）

はちなんか＝初七日　しんじゅーくにち＝四十九日

すーこー（法事・年忌の法要。「焼香」の意。）

なーちゃみー（葬儀の翌日に墓参りすること。「翌日見」の意。）

・どこが悪かったの？

まーが　わっさたが？

・どこか悪かったの？

まーがら　わっさる　あてぃー？

・気を強くお持ちください（持ちなさいね）。

きー　ちゅーく　むちんそーりよー（きー　ちゅーく

むてぃよー）。

お祝いや行事

火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば（うぐわん くていば）

・きょうは、屋敷の御願（祈願）を捧げる（＝捧げます）。

くーや、やしきぬ　うぐわん　うさぎーん。

※ひぬかん＝火の神：台所に祀られている。

※うぐわん ぶすく＝御願不足。神や祖先への祈願や儀式などが、充分にされていないこと。

※ふーるぬ　かみ＝トイレの神様。

・良い正月だね。今年も健康（体祈願）をお願いします。

ぃいー　そーぐわち やんやー。くとぅしん　からたにんぐわん　うにげー さびら。

・今年もよろしくお願いします。見守ってください。

くとぅしん　ゆたしく　うにげー さびら。みーまんてぃ　きみそーり。

・十六日祭（旧暦１月16日に行う墓参り）の際の祈願ことば

きょうは十六日祭です（＝になっています）。

くーや　じゅーるくにちー　なとーぃいびーん。

・清明祭のとき、お墓で祈願することば

ご先祖様、きょうは清明祭なので（＝なっているので）、皆（家族）そろって来ています。

うやふぁーふじーさい、くーや　しーみー　なとーくとぅ、んーな　すりてぃ　ちょーんなー。

ご馳走をお供えしているので、お受け取りください。

くわっちー　うさぎとーくとぅ、うきとぅてぃ　きみそーり。

・屋敷の御願（やしきぬ　うぐわん）

きょうは、屋敷の御願を捧げました。見守ってください。

くーや、やしきぬ　うぐわん　うさぎたん。みーまんてぃ　きみそーり。

◆まじないことば

・魂を込める願い（まぶいぐみ）

魂よ魂、追いかけてこいよ。

まぶやー　まぶやー、うーてぃ　くーよー。

魂を落とす（落とした）。

まぶやー　うとぅすん（うとぅちゃん）。

魂が抜けて（落ちて）いるよ。魂を込めなさい。

まぶいぬ　ぬぎとーんろー（うてぃとーんろー）。まぶい　くみれー。

◆診察のときの受け答え 1

・お元気ですか？

がんじゅー やみしぇーみ？

・夜は眠れましたか？

ゆーるや　にんらりーてぃーなー？

⇒昨日はよく眠ったよ。

きぬーや　ゆー　にんたんろー。

⇒よく眠れなかったよ（眠れなかったね）。

ゆー　にんららんたっさー（ゆー　にんららんたんやー）。

・きょうのご気分はいかがですか？（どんな様子ですか？）

くーぬ　きぶねー　かーやがなー？（かんねーるーやがなー？）

⇒きょうは良い気分だよ（良い気分だね）。

くーや　いー　あんべー やんろー（あんべー やっさー）。

⇒きょうは良い気分ではないね。

くーや　いー　あんべーや　あらんさー。

・どこか悪いところはないですか？

まーがら　わっさん　とぅくまー　ねーらになー？

・どこか痛いところはないですか？

まーがら　やむん　とぅくまー　ねーらになー？

・どこが痛いですか？（痛いか？）

まーが（まーぬ）　やむがなー？

まーが（まーぬ）　やむが？

⇒頭が痛いよ（痛い）。

ちぶるぬ　やむっさー。

ちぶるぬ　やむん。

⇒鈍い（へんな）痛み（が）する（するよ）。

やなやみ　すん（すっさー）。

だいやん　すん（すっさー）。

・どうしましたか？（どうした？）

かー　さがなー？

かー　さが？

⇒熱があるよ（ある）。

にちぬ　あっさー（あん）。

⇒風邪を引いて寒いね（寒いよ）。

かじ　ふぃち　ふぃーさぬやー。

かじ　ふぃかーい　ふぃーさっさー。

・薬を飲むから治るんだよ。

くすい　ぬむわる　のーぃいんどー。

◆診察のときの受け答え 2

・熱をはかるので、ベッド(寝台)で横になってください。

にち　はかいくとぅ、しんらいうてぃ　ゆくいんそーれー。

・着ている服を着替えてください。

きちょーる　きん　けーれーなー。

・危ないですよ（危ないよ）。

うっかーさんどーなー（うっかーさんどー）。

・顔を洗ってください（顔を洗おうね）。

ちら　あらりよーなー（ちら　あららやー）。

・どのような食べ物が好きですか？

かんぐとーる　かみむのー　まし やがなー？

・食べ物は何が好きですか？

かみむのー　ぬーが　まし やがなー？

・毎日、食事は美味しく召し上がっていますか？

めーなち、かみむのー　まーさし　みそーちょーんなー？

・毎日の楽しみは何ですか？

めーにちぬ　たぬしめー　ぬー やがなー？

・何をして一日を過ごしていますか？

ぬーっし　ひーぐらし　そーがなー？

・何か心配事はないですか？

ぬーがら　しわぐとー　ねーらになー？

・早く元気になってくださいね。

ふぇーく　がんじゅー　なりよーなー。

・歩かないと、元気になりませんよ。

あっかんねー、がんじゅー　ならんろーなー。

・おしっこを我慢していませんか？（してないか？）

しーばいや　にじてー　ぅうらになー？

しーばいや　にじてー　ぅうらに？

・トイレに行ってきたのですか？

べんじょんかいる　っんじゃんなー？

・きょうは、よくがんばりましたね（がんばっていますね）。

くーや、ゆー　きばたんやーなー（きばてーさやーなー）。

・お元気でいらっしゃってくださいね！

がんじゅー　しんそーりよーなー！

⇒君も頑張ってね。（同年や目下の人に対して）

っやーん　きばりよーやー。

日常でよく使うしまくとぅば

◆食事のときに使うことば

・ここに置いておくね。

くまんかい　うちょーかぃぃー。

・どのような食べ物が美味しいですか？（美味しい？）

かんぐとーぬ　かみむのー　まーさがなー？（まーさが？）

・どのような食べ物が好きですか？（好きか？）

かんぐとーぬ　かみむのー　まし やがなー？（まし やが？）

・たくさん食べてくださいね。

うふぉーく（ちゅふぁーら）　かみんそーれー。

※うふぉーく＝たくさん。多く。

※ちゅふぁーら＝おなかいっぱい。十分。

・美味しいですか？（美味しい？）

まーさみなー？（丁寧な言い方）

まーさんなー？（同年や目下に対して）

まーさみ？（子どもや目下に対して）

・美味しかったですか？（美味しかった？）

まーさてぃーなー？（まーさてぃー？）

・召し上がりましたか？

かみんそーちーなー？（かみんそーちゃんなー？）

・お召し上がりください。

かみんそーれー。

・何が好きですか？（好きか？）

ぬーぬ　まし やがなー？（まし やが？）

・何が嫌いですか？（嫌い？）

ぬーぬ　しかんがなー？（しかんが？）

◆食味をあらわすことば

あふぁさん（〈味が〉うすい）

あじくーたー（〈味が〉濃い）

すーじゅーさん（塩辛い）

んがさん（苦い）

◆問いかけのことば

・何でも聞いてください（聞いてね）。

ぬーやてぃん　ききんそーれー（ききよー）。

ぬーきーん　ききんそーりよー（ききよー）。

・困ったことはないですか？（ないか？）

くまとーる　くとー　ねーんそーらに？（ねーらに？）

・どこへいらっしゃったんですか？

まーんかい　ᵓんじゃがなー？

まーかい　ᵓんじゃがなー？

・どこへ行ったの？

まーんかい　ᵓんじゃが？

まーかい　ᵓんじゃが？

・昔の大山について教えてください。

んかしぬ　うやまぬ　くとぅ　ならーしんそーりよー。

・趣味（＝楽しみ）は何ですか？（趣味は何？）

たぬしめー　ぬー やがなー？（ぬー やが？）

・出身（＝生まれ）はどこですか？（出身はどこ？）

ᵓんまれー　まー やがなー？（まー やが？）

⇒大山出身（＝生まれ）です（大山出身だよ）。

うやま　ᵓんまり やんなー（ᵓんまり やん）。

・大山のことばを教えてください（教えて）。

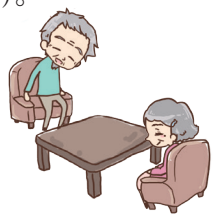
うやまぐち　ならーしんそーれー（ならーせー）。

・お疲れでしょう？（疲れましたか？）

ᵊうたたんなー？（ᵊうたんそーちー？）

・明日もお願いします（＝頼みますよ）。

あっちゃん　たぬむんどーなー。



・明日もよろしく（＝頼むよ）。

あっちゃん　たぬむんどー。

・お先に失礼します（＝先になりますよ）。

さき　ならᵒおー。

・さようなら（＝先になりますよ）。また来ます。

さき　ならᵒおー。また　くーさなー。

・それでは、また来ます（来るよ）。

あんせー、また　くーさなー（くーんどー）。

・ごめんください（来たよ）。

ちゃんどーなー（ちゃんどー）。

・いらっしゃいませ（いらっしゃいましたね／いらっしゃい）。

もーれーなー。

もーちぇーさやーなー。

もーれー。

・太郎はいる？

たるーや　ᵊうみ？

・用事があって来たけど？

ゆーじぬ　あやーい　ちょーしが？

沖縄中南部／大山　※参考『宜野湾市史第5巻　資料編4民俗』

・「あしびぬ　ちゅらさー　にんじゅぬ　すなわい」（遊びぬ美らさや、人数ぬ揃）。「人が多いほど、遊び（祭りや踊り）が美しく素晴らしくなる」。「枯れ木も山のにぎわい」に通じる。

・「あとぅまさい　がふー」（後勝り果報）。「後に出たものに良い結果が得られる場合もある」。「残り物には福がある」に通じる。

・「あびーる　うしねー、おーいしぇー　うらん」（あびーる牛ねー、喧嘩せー居らん）。「吠える牛に、強い牛はいない」。「犬の遠吠え」にも通じることわざ。「あびーる　いんねー、くーやーや　うらん」（吠える犬に噛み犬はいない）の言い方もある。

・「あらむん　じょーぐーや、どぅー　がんじゅーさん」（粗食上戸や、胴頑丈さん）。「粗食を好む者は、健康体である」。

・「いちゃんだ むんぬ　でーだかさん」（只物は、代高物）。「ただより高い物はなし」と同じ。

・「やんめーぬ　ふかや、まぎさしる　まし」（病やか外や、大さしるまし）。「病気以外は、すべて大きいのが良い」の意。

・「ゆぬなかぬ　っちゅや、どぅーやか　うぃー」（世の中ぬ人や、自分やか上）。「世の中の人は、自分より身分や技術が上であると思って謙虚になり、常に努力せよ」の意で使われる。

・「みー　いーれー　くび　うーりり」（実入れ、首折りり）。「人間も中身が充実するほど、頭を下げて謙虚にならなければならない」の例えとして使われる。「みのるほど頭の下がる稲穂かな」に通じる。

9，タクシー運転手との会話

◆大山でタクシーに乗る

・タクシーは来ないね。

タクシーや　くーらんさー。

・タクシーが来るよ。

タクシーぬ　くーんろー。

・どちらまで行きますか？

まーまり　いくがなー？

・宜野湾市役所までです。

ぎのーんぬ　やくばまでぃやーさい。

・道はどこから行きますか？

みちぇー　まーから　いくがなー？

・国道から行く方がよいですね（いいね）。

こくろーから　いくしぇー　まし やがなー（まし やさ）。

・（行き方は）あなた（運転手さん）の良いように。

なーが　ましやる　ぐとぅ やさ。

・はい！　ここで曲がってください。

とー！　くまとーてぃ　まがれーなー。

・あそこから、右（左）に曲がってください。

あまから、にぎりんかい　まがれーなー。

あまから、ひじゃいんかい　まがれーなー。

・はい！　ここで止めてください。

とー！　くまとーてぃ　とぅみれーなー。

・お幾らですか？（幾ら？）

かっさ やがなー？（かっさ やが？）

・ちょうど千円になります（千円だよ）。

ちょーどぅ　せんえん　なとーんどーなー（なとーんどー）。

・ありがとうございました。また利用してくださいね。

にへー やたん。また　ちかりよーなー。

沖縄県の様子（うきなーぬ　しがた）

・沖縄県は日本で唯一、亜熱帯地域に属し、一年を通して温暖な気候で、暮らしやすい地域である。

青く広がっている海は、色鮮やかな熱帯魚やサンゴなどがすむ生き物たちの宝庫となっている。

そして、沖縄島のヤンバルや離島に残っている森林では、日本や世界でもめずらしい植物や動物が生息している。

また、鮮やかに咲き誇る花や緑豊かな樹木からは、力強い生命力を感じている。

・うきなーや　日本ぅうてぃ　たら　てぃーち、亜熱帯地域んかい　なてぃ、にんから　にんじゅー　ぬくさる気候　なてぃ、くらし やっさん　とぅくま やんろー。おーてーん し　ひるがとーる　うみや、いるぎらさぬ　いゆとぅか　さんごぬ　すろーる　いきむしたーぬ　たから　なとーん。

あんし、うきなーぬ　やんばるや　はなりじまんかいぬくとーる　むいぅうてぃ、日本とぅか　世界ぅうてぃん　みじらさる　いきむしたーが　すろーん。

あんし、きらーく　さちょーる　はなや　おーてんそーる　きーからや、いっぺー　ぬちぎらさ　かんじとーん。

●大山の特徴（うやまぬ　しがた）

・宜野湾市は沖縄島中頭の西海岸に位置し、大山はその中でもより西側の、海に面したところにある。大山は国道58号線を北に行けば北谷町、嘉手納町へ、南に行けば浦添市、那覇市につながる交通の要となっている。

現在の大山は、その国道58号線から西側の海へと広がる段丘地（平地）の下にあるが、戦前は、県道（現在の国道58号線）の山手（南）側にあった。海岸段丘（の地形）の下からは湧き水が出て（に恵まれ）、古くから稲作の（盛んな）村だったが、現在では田芋の産地になっている。

昔の宜野湾間切は、1667年に浦添間切から分離設置されたが、（その際に）謝名具志川と呼ばれていた所が、今の大山となっている。

・ぎのーんや　うきなーぬ　しまぬ　なかがみぬ　いりぬ　うみんばたーんかい　あてぃ、うやまや　くぬなーかうてぃん　なーふぃん　いりぬ、うみんかい　ᶜんかとーぬ　とぅくまんかい　あん。うやまや　国道58線から　にしんかい　いきーねー　ちゃたん、かでぃなーんかい、　ふぇーんかい　いきーねー　うらしー、なーふぁんかい　ちながいる　交通ぬ　かなみなとーん。

なまぬ　うやまや、くぬ　国道58号線から　いりぬ　うみんかい　ひるがいる　ふぃらぬ　しちゃんかい　あしが、いくさめーや、県道ぬ　やまむてぃーんかい　あたん。ふぃらぬ　しちゃからや　わきみじぬ　ᶜんじてぃ、んかしから　ᶜんにじゅくいぬ　むら　やたしが、なまー　たーんむどぅくるなとーん。

んかしぬ　ぎのーんまぎりや、1667年に　うらしーまぎりから　わかりたしが、じゃなぐしかーりち　ゆばとーたん　とぅくるや、なまぬ　うやまなとーん。

地域の特徴

●観光案内（かんこー　あんねー）

・宜野湾市や大山のいろいろな場所を案内しようね。

ぎのーんや　うやまぬ　いるんな とぅくる　あんねー さやー。

・綱引き（ちなひき）

綱引きは、旧暦の６月 15 日に行われていた。大山の綱は、（先端の）輪（かなき）の形が他の地域の綱とは異なっている（特徴がある）。

綱引きは、道ズネーやガーエーを行ったあと、アギエー勝負があり、その後に雄綱と雌綱をつないで綱引きが行われた。

古くは引き終わった綱の輪を切り取って浜に流していたが、現在は、これは（この風習も）行われていない。

ちなひきや　きゅーぬ　くゆみぬ　るくぐぁち じゅーぐにちに　ひちょーたん。うやまぬ　ちなや、かなきぬ　かたちぇー　ふかぬ　しまぬ　ちなとぅ ちがとーん。

ちなひきや、みちじゅねー　がーえーぬ　あとぅに、あぎえーすーぶが　あてぃ、くぬあとぅに　うーじなとぅ　みーじな　ちながーい　ちな　ひくたん。

んかしぇー　うわたる　ちなぬ　かなきや　きやーい はまんかい　ながちょーたしが、なまー　くれー そーねーん。

・大山の田芋（うやまぬ　たーんむ）

（豊かな）湧き水に恵まれている大山は、沖縄でも有名な田芋生産地だ。美味しい田芋は、お盆や正月には、沖縄中の家庭の食卓を飾る。田芋は、上質田（ジョーター）（と呼ばれる水田）で栽培されている。大山では、田芋を栽培することを「ナーチャウィー」といって、二年かけて収穫される。

わきみじんかい　みぐまっとーる　うやまや、うきなーうてぃん　なーうっちゅる　たーんむどぅくるやん。まーさる　たーんむや、しちぐぁち　そーぐぁちねー　うきなーじゅーぬ　やーぬ　かみむん なとーん。たーんむや　じょーたーうてぃ　つくらっとーん。うやまうてー　たーんむ　いーゆせー　なーちゃうぃーり　いち、ににんかきてぃ　とぅとーん。

語って　使おう　しまくとぅば

『かたてぃ　ちからな　しまくてぃば』

うやまくてぃば（大山ことば）

発　　行　　日：2021（令和 3）年 3 月 27 日

監　　修：又吉里美（岡山大学教育学部准教授）

大山くてぃば話者：宮城邦治

（音声話者）　伊佐真徳（字大山）、石川博司（字大山）

発　　行：沖縄県文化観光スポーツ部　文化振興課

〒 900－8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

編　集・制　作：沖縄県文化協会　しまくとぅば普及センター

（校閲）　センター長　波照間永吉

〒 900－8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

文化振興課内

制　作・印　刷：合資会社　沖縄時事出版

代表　名幸諄子

編集責任　呉屋栄治

〒 900－0025　那覇市壷川 1－3－10

TEL 098－854－1622（編集部）

原稿執筆・構　成：宮城一春

【写真提供】

「大山綱引き」（宮城邦治）

「海中公園」「やんばる国立公園」（沖縄観光コンベンションビューロー）

沖縄県